

様式 2

随意契約結果表(委託等契約)

| | |
|---------------|---|
| 所属名 | リニア未来創造・推進グループ |
| 契約締結年月日 | 令和 5 年 10 月 5 日 |
| 契約者名 | 株式会社 丹青社 |
| 契約名 | 山梨県立リニア見学センタージオラマ及び展示機器更新業務委託 |
| 契約金額 (税込み) | 53,358,250 円 |
| 随意契約理由 | <p>本業務は、山梨県立リニア見学センターどきどきリニア館の展示物において、劣化や破損した箇所の補修及び改良、耐用年数を経過した展示機器類の更新を行うものである。</p> <p>更新作業の対象となる機器のうち、AR映像装置については、端末及び専用アプリケーションのアップデートに対応した既存のコンテンツの適合作業が必要となり、データの構成やアプリケーションの仕様を把握している必要がある。</p> <p>また、超電導ラボにおける体験装置の部品類は全て特注品であるため、製作にあたって既存の装置に合わせた精度の高い作業が求められる。</p> <p>さらに、ジオラマに関しては、コンピュータ制御により、鉄道模型の走行プログラム、音声、映像、照明の演出がシナリオと連動して稼働している展示物である。そのため、模型の製作のみならず、走行装置、音響、映像、照明等演出システム全体の設計とシナリオとの連携の仕組みを総合的に熟知していなければ、現地における調整作業に対応することができない。</p> <p>当該施設には多数の来館者があり、工事に伴う休館日を設定しての施工ができないことから、通常の休館日又は営業時間中に展示を一部休止して作業を実施することとなるが、来館者の満足度維持と安全確保の観点で、展示の休止期間を短期間にするとともに、立ち入り制限の範</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p> 囲を最小限にする必要がある。 限られた時間の中で迅速に作業を行うためには、運営状況に精通するとともに、施設の構造等を熟知していることが不可欠である。 以上の条件を満たす事業者は、展示全般の企画、設計を行った事業者であり、指定管理者でもある株式会社丹青社の他にないことから、競争入札には適さないものである。 </p> <p> よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により、株式会社丹青社と随意契約により契約を締結することとし、山梨県財務規則第137条第3項の規定により見積合わせを省略する。 </p> |
| 随意契約の適用条項 | 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 |